

# 令和8年度 薬物乱用防止啓発業務仕様書

## 1 業務名

令和8年度 薬物乱用防止啓発業務委託

## 2 業務の目的

多角的に薬物乱用防止啓発を行うことで県民の薬物乱用防止意識を醸成し、もって県民の薬物乱用防止を図ること。また、近年では特に、大麻事犯の検挙人員における10代、20代の割合が7割以上を占めていることなどに鑑み、若年層に対する啓発を積極的に実施する。

なお、薬物乱用とは、麻薬・覚醒剤・大麻・指定薬物等の違法薬物及び危険ドラッグの使用、医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）等をいう。

業務を行うにあたり目標とする具体的な成果（アウトカム）は別表1のとおり。

## 3 業務内容

### （1）年間スケジュールの作成

本業務を着実かつ効率的に実施することのできる年間スケジュールを作成する。

なお、スケジュールには、「誰が」「何を」行うかを分かりやすく記載する等の工夫をすること。

また、スケジュールの作成にあたっては、あらかじめ発注者の確認・調整等に必要な期間を設ける等無理のない計画とすることに留意する。

### （2）啓発手法等の企画、提案及びその実施

別表1の成果（アウトカム）を達成することを目的とし、以下のア～エのそれぞれについて効果的な企画をできるだけ具体的に提案し、実施する。

また、別表1の内容に加え、薬物乱用問題の情勢を随時踏まえながら、効果的と考えられるテーマが他にあればその内容についても同様に企画・提案し、その実施について発注者と協議すること。

#### ア 手法（必須事項は「必須」と記載）

参考として以下に例を示すが、必須以外の事項については各提案者の企画によるものとし、必ずしも全て実施しなければならないということではない。

〈例〉

#### ○ 広告業務

- ・ SNS 広告、動画配信広告、WEB 広告、デジタルサイネージ広告、その他各種メディアでの広告等（啓発するテーマごとの内容を踏まえた広告文章等の制作業務を含む）。なお、広告時は薬物乱用に繋がるキーワードの投稿等を行った若年層のユーザーに広告を表示するなど、効果的に啓発を行うこと。
- ・ X、Instagram 広告（必須）

広告媒体	広告期間	広告表示回数	その他
・ X ・ Instagram	学校の長期休暇 期間（7-9月頃及	合計 900,000 インプレッシ	薬物乱用に繋がるキーワードの投稿等を行った、

	び 12-1 月頃など）に優先的に実施する	ョン以上	若年層のユーザーに広告を表示する等効果的な啓発を行う
--	-----------------------	------	----------------------------

#### ○ 広告に使用する静止画等の制作業務

- ・ 広告等へは、若年層に対する啓発効果の高い、若年層が目を引くようなコンテンツを企画・制作し、啓発に活用する。
- ・ SNS 広告等に使用する静止画の制作は**必須**とし、その他、実施する広告内容に応じて動画、啓発資材等を制作する。
- ・ コンテンツに使用する啓発活動の指針となるキャッチコピーは、既存のものを使用することも可能である。

#### ○ 広告業務等のランディング先の設定

- ・ 広告業務等においてランディングページが必要な場合には、薬務課ウェブページ（[参考①](#) [参考②](#) [参考③](#) [参考④](#)）をランディング先として設定することや、別途、独自にウェブページを作成することも可とする。

#### ○ 若年層向けの街頭キャンペーン企画・運営業務

- ・ 若年層に対して、直接、薬物乱用防止を呼び掛けるための街頭キャンペーンを開催。
- ・ 薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーンの運営（詳細は[別紙 2 参照](#)）（**必須**）
- ・ その他、必要に応じキャンペーンを開催する。（開催場所の許可取り、当日配布する啓発資材等の作成及び袋詰め等の業務を含む。）

### イ 実施期間

各報告書（「7 報告書の提出」参照）を、令和 9 年 3 月 23 日（火）までに提出することに留意する。

### ウ 数値目標及び想定される効果

本業務を行うにあたり、目標とする指標及びその数値を示すこと。また、目標とする指標及びその数値について、その選定根拠を当該目標の達成により想定される効果とともに示すこと。

なお、デジタル面以外での広告における効果測定に関する数値については、各媒体の管理者等が提供するデータを活用して差し支えない。

### エ ターゲット

各企画について、具体的なターゲット層を提案する。

#### （3）啓発資材等の作成及び配送

関係機関が実施する街頭キャンペーン等において配布する啓発資材等を以下の**ア**

及び**イ**のとおり作成し、配送する。なお、作成する啓発資材の仕様については発注者との協議を行い、決定する。

#### **ア 啓発資材(作成例は別紙1参照)**

啓発資材は原則 3 種類、計 3 万 5 千個程度作成する。なお、このうち 1 種類についてはウェットティッシュ（2 万個程度）とする。

啓発資材の作成にあたっては、既存のデザインを使用することも可能である。

※原則、配送先は神奈川県内の 9 ヶ所（薬務課含む）。ウェットティッシュのみ、30～50 ヶ所（薬務課含む）へ配送する。ただし、発注者の求めに応じて、配送先を追加する場合がある。

#### **イ リーフレット(仕様は別紙3-1～3-2参照)**

既存のリーフレット [別紙 3-1](#)（4 万部程度）及び [別紙 3-2](#)（4 万部程度）に準じた新たなデザインのリーフレットを制作し、印刷・納品する。

- ・ リーフレットに使用するデザインの素材や画像等は発注者の求めに応じて受注者が入手（権限処理を含む）する。
- ・ 最終的なリーフレットの文章及びデザインは、発注者との協議により決定する。
- ・ 元データ（A I データ、pptx データ等）は発注者が受注者へ提供する。
- ・ 元データに使用している写真等に関する著作権及び肖像権等に係る許諾の取得は不要とする。
- ・ 制作後のデータは、文字やパスが編集可能な状態のデータ（A I データ等）及び入稿用のデータを納品すること。

なお、新規のリーフレットを作成する場合は発注者と受注者との間で協議を行い、受注者が作成する。

※原則、配送先は薬務課のみ。ただし、発注者の求めに応じて、配送先を追加する場合がある。

#### **(4) その他**

(1) ～ (3) の他、必要となる業務について、発注者からの求めに応じてその都度協議のうえ対応する。

### **4 SNS 広告出稿時に利用するアカウント**

- (1) 発注者が所有しているアカウントを利用する（Instagram、Facebook 及び X アカウントを令和 5 年 11 月頃に開設済み。各アカウントについて行っている手続きは開設手続きのみであるため、広告出稿に伴い必要になる手続きがあれば受注者が設定する。）。なお、当該アカウントのユーザー ID 等については別途受注者あてに通知する。
- (2) 広告出稿に利用するアカウントにおいて、当該 SNS における広告出稿期間中にあっては、広告を閲覧したユーザーからのコメント等が寄せられた場合、受注者が随時確認し、その旨について発注者に通知すること。

## 5 広告等に使用する動画等の作成について

- (1) 本業務において、受注者は発注者が所有するデザイン等（[別紙1](#)で使用するデザイン及び[別紙3-1～3-2](#)、[別紙4](#)）を使用することができる。
- (2) 広告の表示形態に合わせた静止画、動画等を新たに作成する場合は、広告開始の概ね1ヶ月前までに受注者あてに提出する。この際、受注者が作成イメージを発注者に提案し、協議のうえデザイン等を決定する。なお、成果物に対する権利は、その生じた時点から発注者に帰属するものとする。

## 6 広告実施計画の作成等

- (1) 受注者は、広報実施計画を、広報を開始する概ね2週間前までに発注者に提出する。
- (2) SNS広告出稿時に設定する表示条件は、発注者との協議のうえ受注者が設定する。なお、設定する条件を変更する際は、発注者と協議を行うこと。

## 7 報告書の提出

- (1) 受注者は、発注者から業務の実施状況の確認を求められた際は、適宜状況報告を行う。また、契約期間中、必要に応じて発注者と受注者の間で協議を行い、発注者の合意のもと、以降の業務実施計画について修正を加えることができるものとする。
- (2) 受注者はインプレッション数・バナーのクリック数等に関する時間別、曜日別、男女別、年代別及びデバイス別等の広告実績及びキャンペーンの参加者数等の報告書を毎月作成し、「月報」として各月の広告期間終了後1週間以内を目安に発注者に提出する。  
デジタル面以外での広告における実績数値については、各媒体の管理者等が提供する効果測定に関するデータを活用すること。
- (3) 令和9年3月度における上記の各報告書については、令和9年3月23日(火)までに提出すること。

## 8 その他

- (1) 受注者は、本仕様書にない事項又は仕様について生じた疑義については、発注者と協議するものとする。
- (2) デザイン制作については、「[広報用印刷物のデザイン制作に係る受注者の方へのお願い](#)」及び「[3秒で伝わるデザイン～受け取る人の目線に立った9つのポイント～](#)」を守ること。
- (3) 啓発資材の作成にあたっては、「[神奈川県プラスチック資源循環推進等計画](#)」及び「[神奈川県障害者就労施設等からの物品等の調達の推進に関する方針](#)」に留意すること。
- (4) 薬物乱用防止に係る啓発を行う際には、以下の事項に留意すること。
  - ・科学的根拠に基づく正確な情報によるものであること。
  - ・必要以上に恐怖を煽るような表現は避けること。
  - ・薬物相談窓口を紹介し、相談を促す等、薬物に悩む方々へ配慮すること。
- (5) ウェブページの作成を行う場合は、ウェブページ作成・管理における特記事

項（[別紙 5](#)）を遵守すること。

- (6) 本業務の遂行にあたり、クラウドサービス等の外部サービスで個人情報又は特に機密性が求められる情報を扱う場合、別添の「セキュリティチェックリスト」のセキュリティ要件、外部サービス提供者回答欄や受託者回答欄に記載のセキュリティ対策も満たすクラウドサービスの選定、開発（導入・構築）、運用保守、更改・廃棄を行うこと。契約後、「セキュリティチェックリスト」の外部サービス提供者回答欄や受託者回答欄を記入し、発注者に根拠資料と共に提出すること。その後は、「セキュリティチェックリスト」のセキュリティ要件に従い、時点更新を行い、定期的に発注者に提出すること。なお、システムの特性等に応じて不適合又は対策不要等を判断した場合には、根拠を示す説明資料を併せて提出し、発注者の承認を得ること。
- なお、クラウドサービス等の外部サービスを利用せず、自社のデータセンター等にサービス提供基盤を構築する場合は、クラウドサービスを利用する場合に準じたセキュリティ対策が実施できること。

別表 1

	テーマ、内容	対象薬物	ターゲット	アウトカム
①	大麻の有害性について	大麻	全県民 (主に 30 歳未満)	大麻の有害性に関する正しい知識を習得させ、大麻の乱用を防ぐ
②	海外における大麻の規制状況について			海外における大麻の規制状況や大麻の危険性を適切に理解させることで大麻の乱用を防ぐ
③	大麻に関する法規制の概要（大麻の所持、使用禁止）			大麻の所持、使用が禁止されていることを周知し、大麻の乱用を防ぐ
④	危険ドラッグの新たな形態について（グミ、クッキー等）	危険ドラッグ	全県民	危険ドラッグだと気づかずに摂取してしまうことを防ぐ
⑤	危険ドラッグの危険性（“合法なものであっても安全とは限らない”）		全県民 (主に 40 歳未満)	危険ドラッグがどのようなものなのか、身体にどのような影響があるのかを認識させ、危険ドラッグの使用を防ぐ
⑥	「医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）対策」 生きづらさを抱える人に対するメッセージ （“大切なあなたの人生を守りたい”等）＋悩み事の相談先を提示	医薬品（市販薬、処方薬）	全県民 (主に 30 歳未満)	生きづらさ等の悩みを要因とする医薬品の過剰摂取（オーバードーズ）を防ぐ
⑦	薬物を誘われた時の断り方	—	若年層（30 歳未満）	薬物の使用を誘われた時の適切な対応方法を啓発することで薬物乱用を防ぐ
⑧	薬物乱用防止に関する各種運動期間における運動内容の周知・啓発（麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動）		全県民	各種運動の主旨を周知し、県民の薬物乱用防止意識を向上させる

参考：各テーマの具体的な情報は[県ホームページ](#)を参照

※①～⑧について、すべてを分割して広報する必要はなく、複数のテーマについて同一の広報物に掲載することで啓発を兼ねることも可能とする。



## 別紙 1



二色ボールペン+シャープペン



シャープペン



ウェットティッシュ



フリクションマーカー



クリアファイル



エコバッグ



付箋



紙せっけん



メモ帳



消しゴム

※資材や包装の素材は、プラスチック以外の素材への切り替えを推奨しています。

## 別紙２（参考）

### 令和７年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

#### １ 趣 旨

最近の薬物情勢については、薬物乱用の低年齢化、薬物密売手口の巧妙化、密輸ルートが多様化など、依然として深刻な状況が続いている。

本県においても、覚醒剤・大麻等薬物の乱用は依然として高水準にあり、特に大麻については検挙人員の増加傾向が顕著で、近年の県内における未成年者検挙人員の大多数を占めるなど、まことに憂慮すべき事態である。その背景には、インターネット等で「大麻はほかの薬物より安全」「海外では合法化されているから安全」といった、誤った情報が広がっていることが考えられる。

このような状況を踏まえ、「二十歳の市民を祝うつどい」に出席する若者に薬物の恐ろしさを訴え、薬物乱用防止の普及啓発を図るため、関係機関・団体が一体となり薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーンを行う。

#### ２ 開催日時

令和８年１月１２日（月・祝） ９時３０分～１６時（準備、片付け含む）

（キャンペーン実施時間 第１部：１１時１５分～１２時１５分

第２部：１３時３０分～１４時３０分）

#### ３ 場 所

J R東海新横浜駅北口東広場（横浜市営地下鉄側）及びペDESTリアンデッキ

#### ４ 主 催

神奈川県

横浜市

薬物クリーンかながわ推進会議

（参加者 計 61 名）

#### ５ 委託内容

（１） 啓発資材の作成、袋詰め、配布（４，０００部）

（２） 当日使用する備品の搬出入

（３） 会場の設営（横断幕の設置、パネル展示等）

（４） キャンペーンの運営

（５） 薬物乱用防止の呼びかけ など

※なお、開催場所の許可取りや当日の配布スタッフの人員確保は含まれません。



[illegible]

# あなたの人生を守るために

# 薬物について知っておかなければいけないこと

**薬物乱用**とは、もともと病気の治療などに使う医薬品や、主料などの工業用の薬品、その他一般にはよく知られていない薬物などを遊びや快感を求めするために使用することをいいます。このような目的で薬物を使用する行為は、たとえ1回でも乱用にあてられます。



**STOP!**  
**薬物乱用!!**

危険な薬物は次のような別名で呼ばれています。いろいろな別名が私たちの警戒心を弱めます。

 <b>覚醒剤</b> <small>エス スピード アイス シャブ</small>	 <b>大麻</b> <small>ハッピー 麻草 クサ</small>	 <b>ヘロイン</b> <small>バー チャイナホワイト ジャンク</small>
 <b>コカイン</b> <small>コーク スノウ クラック</small>	 <b>MDMA</b> <small>エクスタシー バズ</small>	 <b>危険ドラッグ</b> <small>オホミ グミ クッキー</small>

**危険ドラッグとは**

「合法」とであると誤認して、グミやクッキーなどの食品や電子タバコのカードリッジのような形態で、いかにも安全なものであるように販売されています。これらは、法律で規制している麻薬や指定薬物の成分が含まれているものがあります。その危険性は麻薬や覚醒剤と変わらないものも多く、乱用により死亡することもあります。

**神楽川県・薬物グリーンがながわ推進会議**

神楽川県は薬物グリーンがながわ推進会議と協賛で、薬物乱用防止啓発を行っています。

# 薬物乱用による害

やくぶらんよう しんたい きさばさ 悪くえいさよう ひ 害

## 薬物乱用は身体に様々な悪影響を引き起こします。



のう → 委縮する。

め → 眼出血がおこる。(視力低下、失明)

きくわん・すい → 急性気管支炎で死にすることもある。

こつごう → 赤血球が作られなくなる。貧血になる。

かんまろ → 食欲不調、黄疸、腫れがおこる。

せいしんきょう → 萎縮する。生理不順、生殖能力の低下。

その他害として、薬物を注射で乱用する場合は、いろいろな**感染症**(エイズ、肝炎など)の原因になります。

やくぶらんようのもっとも恐ろしい特徴は

## 依存性と耐性

このことによて使う量や回数が増えていき危険なサイクルに陥ります。  
「1日くらなら」という気持ちがあなたの人生に悪影響を及ぼします。

えいぞんせい たいせい

依存性…  
耐性…  
荷担的薬…



これらの違法な薬物を使用すると…



見せかけの元気  
すくすく幸せ



抑うつ状態  
イライラ  
疲労感

元の生活には  
なかなか戻れません

## 医薬品の過剰摂取(オーバードーズ)について

いやくひん かじょうせしりょ

医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうと、身体に大きなダメージを与えたり、やめられなくなったりする恐れがあります。

悩みの一つは一人で抱えずに、ぜひ相談してください。

あなただけの話を聞いてくれる場所がいくつもあります。

# 薬物乱用は重大な犯罪です!!

日本には薬物乱用から国民の健康と安全を守るために「麻薬及び向精神薬取締法」「大麻草の栽培に関する法律」「覚醒剤取締法」「あへん法」「毒物及び劇物取締法」などの法律があります。大麻などの麻薬、覚醒剤などの輸入や製造、あるいは他の人への受け取り、他の人への受け渡し、所持、使用などは厳しく罰せられます。このように薬物乱用が厳しく罰せられているのは、本人の心身への悪影響だけではなく、暴力、犯罪、家庭の崩壊など、社会にいろいろな弊害をもたらすからです。

## 薬物から自分を守るために必要なこと

覚醒剤は暴力的な資金源になっていることがほとんどです。  
最近では、先輩や友人から誘われたり、SNSやコミュニケーションアプリを通して販売されるなど、私たちの身近なところで取り引きされています。

甘い誘い文句には注意!

- やせるよ
- 楽しくなるよ★
- リラックスするよ
- みんなやっているよ
- 一度だけなら大丈夫!
- すぐやめられるよ

友達や先輩からすすめられたり、SNSやインターネットサイトを見ても、**きっぱりNOと断る！** その勇気が薬物の魔力からあなたの人生を守ります。

誘われたりして悩んだ時は  
家族や先生、相談窓口  
相談してね

薬物乱用はとても危険です!!

SOS 相談窓口!!

おたけこ 100% 安心サポート

規格	□冊子 □チラシ ■リーフレット □パンフレット □ポスター □その他( )													
	仕上	■A	□B(	4	)判	縦(		)mm	×	横(		)mm		
	(展開)	■A	□B(	3	)判	縦(		)mm	×	横(		)mm		
印刷・用紙	ページ数	表紙	ページ	本文	4	ページ	合計				4	ページ		
		白紙	ページ	その他	ページ									
		刷色数	用紙種類						連量(四六判換算)					
	本文①	(	4	)色	再生	(		)%	(	コート	)紙	(	90	)kg
	特記事項		環境省が作成した「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(最新の改訂版を参照)の「判断の基準」に基づいた調達等を実施すること。											
納品	梱包方法	□指示なし		■指示あり		100部ずつ帯止め、数百部単位で包装、数包装単位で箱詰め								



### いま、大麻が危ない！

若者を中心に大麻の乱用が広がっています

大麻の模倣者が増えています！  
約7割が20歳以下




年	利用者の数（推定）
2020	約3,000
2021	約3,500
2022	約4,000
2023	約4,500
2024	約5,000

（厚生労働省資料より）

### 誤った情報に注意！！

- × 大麻は安全、無害だ！
- × タバコより安全！
- × 合法な国もあるから安全！

すべて誤りです！

⇒ 大麻は脳に影響して幻覚を起したり、自分の意志ではやめられなくなる危険な薬物です！！



健康への被害はない

依存性（中毒性）はない

合法な国もあるから安全

ちょっと待って！

イラスト：日清 麻薬情報センター

### 薬物乱用の日々を振り返って

（20代 男性）

私はこれまで覚醒剤、大麻、MDMA、LSDなどの違法薬物を使用してました。そのきっかけは、20歳の頃、職場の怖い先輩から大麻を勧められたことでした。断る勇氣がなく、疲労も重なり、先輩に勧められるがまま大麻を使用。それ以降、自分で売人を探し購入するようになり、大麻が生活の一部となりました。付き合っていた彼女に薬物使用がバレて別れた後も、大麻に依存し続けました。

その後、売人からMDMAやLSDを勧められ、新たな刺激を求めてこれらの薬物も使用。薬物が生活の中心となり、趣味や旅行、交友関係にも興味を失い、給料のほとんどを薬物に費やしました。家賃の支払いを滞らせ強制退去させられ、薬物を安く買える治安の悪い地域に住むようになりました。病氣な使用で心身を蝕まれ、大麻に加えMDMAやLSDを毎日使い続け、さらに売人から覚醒剤を勧められました。

覚醒剤は一時的に体力を元気に感じさせましたが、効果が切れると体がだるくなり、背骨割れなどは行動できなくなりました。使用を続けることで貧血や栄養不足、体の損傷が顕著になり、歯が抜け落ちたり骨折しやすくなりました。また、幻覚や幻聴に悩まされ、騒音聴覚から他人に暴力を振るう迷走しました。身柄拘束中、コンクリートの部屋でこれまでの生活を振り返り、自分がいかに異常な人生を歩んできたかを痛感しました。現在は周囲の協力を得て薬物を断ち切っています。しかし時折、疲労や渾込みで薬物の誘惑が頭をよぎることがあります。ですが、私を信頼して協力してくれている人達のために今後も一生薬物を使用しない人生を歩んでいきたいです。

（厚生労働省資料より要約）

### ひとりで悩まずに相談しましょう

県精神保健福祉センター	045-821-6937
県薬務課	045-210-4972
県警本部 警察総合相談室	045-664-9110
県警 少年相談窓口	045-641-0045
ユーステレホンコーナー	☎ 0120-45-7867
関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	045-201-2022
横浜いのちの電話	045-335-4433
川崎いのちの電話	044-733-4343



Just say "NO" !!!  
NO DRUGS !!!



STOP! 薬物乱用!!

神奈川県県キャラクターかながわキンタロウ

# STOP!

# 薬物乱用!!

神奈川県  
薬物クリーンかながわ推進会議

（令和8年3月 改訂）

**薬物乱用への甘い誘い**

ちょっとだけ、  
ためてみるよ

みんなやってるよ

やせられて、  
肌がきれいになるの

イライラがとれて  
スッキリするぞ

**薬物の危険をさける3つのポイント**

1. 薬物を誘われる危険性のある場所に行かない。
2. 誘われたら話題を変える。まったく違う話に変えてしまおう。
3. 誘われたら逃げる。人のいるところ、道の広い方、明るい場所に向かって逃げよう。

**誘いの言葉にだまされない**  
「嫌だ!」とキツパリ断る勇気  
大切な自分を守ろう!

**依存性と耐性があります**

違法な薬物を  
1回でも使用すると

見せかけの元氣  
すこく落せ

抑うつ状態  
イライラ・疲労感

依存性、耐性、過剰的使用  
もう1本・・・もう1本・・・

**薬物による様々な問題**

イラスト提供 報道写真オンライン

**薬物乱用が心身に及ぼす影響**

**乱用される薬物**

覚醒剤  
【エス・スピード・シャブ】

大麻  
【マリファナ・テコ・ハシロ】

MDMA  
【エクスタシー・パブ】

覚醒剤ドラッグ  
【お茶・アロマ・バスソルト】

**医薬品の過剰摂取(オーバードーズ)について**

医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうと、身体に大きなダメージを与えたり、やめられなくなったりする恐れがあります。  
痛みやつらい気持ちは一人で抱えずに、ぜひ相談してください。あなたの話を聞いてくれる場所がいくつもあります。

規格	□冊子 □チラシ ■リーフレット □パンフレット □ポスター □その他( )											
	仕上	□A	□B( )判	縦( 210 )mm		×	横( 100 )mm					
	(展開)	■A	□B( 4 )判	縦( )mm		×	横( )mm					
印刷・用紙	ページ数	表紙		ページ	本文	2	ページ	合計			2	ページ
		白紙		ページ	その他		ページ					
		刷色数		用紙種類					連量(四六判換算)			
	本文①	( 4 )	色	再生	( )	%	( コート )	紙	( 90 )	kg		
	特記事項		環境省が作成した「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(最新の改訂版を参照)の「判断の基準」に基づいた調達等を実施すること。									
納品	梱包方法	□指示なし		■指示あり		100部単位を帯びどめ、帯びどめ6個程度ごとに包装						



あなたの大切な  
人生を守りたい。

薬物に手を出してしまう前に、もう一度よく考えてみて



## 別紙 5

### 【ウェブページ作成・管理における特記事項】

#### 1 サイト運営者の責任表示及び神奈川県共通ロゴ・マークの表示

発注者と協議の上、各ページのフッタに発注者の所属名、問合せ先情報及び県公式ウェブサイトであることを示す画像（KI デザイン又は公式バナーリンク（発注者が提供する））を掲載すること。

#### 2 サイトポリシー等の表示

発注者と協議の上、サイト運営にあたって以下の項目を表明するページを作成し、サイトトップページもしくは各ページのフッタに当該ページへのリンクを掲載すること。

（1）禁止事項

（2）免責事項

（3）サイト内の著作物（著作権）の取扱い

（4）プライバシーポリシー（個人情報等の取扱い）

（5）セキュリティポリシー

（6）ウェブアクセシビリティ方針

なお、「（6）ウェブアクセシビリティ方針」については、神奈川県ウェブアクセシビリティ方針を採用した上で、次のような表記を行うこと。

#### 【記載例】

ウェブアクセシビリティへの対応

〔〇〇〇サイト名〇〇〇〕は、神奈川県ウェブアクセシビリティ方針（[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz7/accessibility/accessibility\\_policy.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz7/accessibility/accessibility_policy.html)）のとおり、ウェブアクセシビリティの確保と向上に取り組んでいます。

#### 3 ウェブアクセシビリティへの対応

サイト作成にあたっては、神奈川県ウェブアクセシビリティ方針（[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz7/accessibility/accessibility\\_policy.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz7/accessibility/accessibility_policy.html)）に則り、JIS X8341-3：2016（高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ）（以下、「JIS 規格」という。）の達成基準に対応させ、納品前に全ページを対象に JIS 規格に基づく試験を実施すること。

なお、試験の対象範囲は JIS 規格「JB. 1.2 ウェブページ一式単位」「a) すべてのウェブページを選択する場合」とする。試験の結果、達成基準に不適合となった場合は、速やかに修正するか、代替手段を用意すること。

また、成果物として、JIS 規格に基づく試験結果報告書（達成基準チェックリスト）を提出すること。

#### 4 ウェブページ作成上の留意事項

（1）ウェブコンテンツの制作に使用する文字コードは utf-8 とする。可読性に配慮するとともに、要素名や部品名を付与する際はメンテナンス性を考

慮すること。

- (2) 依存するウェブコンテンツ技術は、WHATWG が策定する HTML Living Standard、W3C が勧告する CSS2 及び CSS3 並びに JavaScript (ECMAScript) とすること。
- (3) 前項の技術に対応したブラウザの最新バージョンで正常な表示や操作ができること。
- (4) 閲覧者のクライアントパソコンへの特殊なソフトウェアのプラグインインストールを行うことなく閲覧できるようにすること。(PDF 形式を除く。)
- (5) ウェブページの公開は、納品された電子ファイルを発注者が県ウェブサーバ (<https://www.pref.kanagawa.jp/>) にアップロードすることにより行う。
- (6) 電子ファイル及びフォルダ (URL) の命名に使用できる文字は、小文字の半角英数字並びに半角記号の- (ハイフン) 及び\_ (アンダーバー) のみとする。
- (7) .htaccess 等の設定ファイルはすべて使用できない。
- (8) html ファイルを除くすべてファイル (画像、CSS、JavaScript 等。以下「画像ファイル等」という。) は、県が使用するファイルアップロード機能の仕様により、html ファイル内に存在が記述されていなければアップロードすることができない。CSS、JavaScript で画像ファイル等を使用する場合には、併せて html ファイルにもその存在を記述すること。
- (9) アドレスバーやステータスバーを隠さないこと。
- (10) JavaScript においてフリーのライブラリ等を利用する場合は、類似案件での利用実績やメンテナンスの状況 (開発コミュニティが活発に動いているか) などについて、十分に検討し、その上で発注者と協議すること。また、利用するライブラリ等は発注者から割り当てられたディレクトリ配下に格納すること。
- (11) 成果物、その他の発注者に提供するデータや記録媒体については、納品前に必ずコンピュータウイルス等不正プログラムが混入していないことを確認すること。